

は ち や 八矢よしみ 通 信

PROFILE

●1972年、山口県生まれ●国立療養所柳井病院附属看護学校、山口県立衛生看護学院保健学科卒業●都内病院の血液内科病棟に勤務。行政保健師として西東京市役所に20年勤務。介護、高齢者福祉、成人保健に携わった後、市の子ども家庭支援センター長として勤務後、退職●2022年、西東京市議会議員初当選●看護師、保健師

VOL.10
2025. 秋号

お役に立つ
情報を発信
しています



公式LINE



ホームページ



X (旧ツイッター)

発行：西東京市議会議員 公明党 八矢よしみ 住所／南町 3-1-10 携帯／090-8580-6422

第3回
定例会



令和6年度
西東京市一般会計・特別会計 歳入歳出決算が可決



提案しました

職員提案制度の見直し

職員自らが、
経費の節減・収入の増加
が提案できる体制へ

人件費削減

相談窓口**にUDトーク※**
を導入し、記録時間を
削減へ!!

※UDトークとは、音声自動文字起こし



約870億円
前年度比
1.2% **UP**

歳入 決算額

主な理由は

- ①「定額減税」の影響を受けて
「**個人市民税**」が減少 **DOWN**
国の「**地方特例交付金**」で補てん
- ②「都補助金」等を受けて
「**学校給食費無償化**」の実施

「学校給食費無償化」は、全ての子どもへ分け隔てなく、栄養のある食事を提供することで、子どもの健全育成に資する大切な意義があります。今後も公平性の観点から**私立学校等に通う子どもたち**にも拡大し、継続していく必要のある重要な事業です。



約843億円
前年度比
1.5% **UP**

歳出 決算額

主な理由は

- ①定額減税補足給付金
- ②**人件費**前年度比12.7% **UP**

人件費は経常的に必要な予算です。
今の事業を検証することが大切です。



市民に寄り添う市政を目指します!!

＝ 提案しました ＝

若い方へ

若者の居場所



調査より「**会話**ができて、**自習**ができて、**無料Wi-Fi**設置の場」を10代が望んでいる。

※西東京市若者調査(令和6年16～29歳4,000人調査)



答え

若者への情報発信に努める。



意見



神戸市は協力店舗(39店舗)に、「まちなか自習室」として、中高生に自習室、お茶が飲めるスペースを開放している。若者へ応えていただきたい。

通学中の見守り活動



小学校の交通擁護員を増やしてほしいとの声がある。全くボランティアがない5校のうち交通擁護員の配置が少ない3校(**田無小・谷戸小・柳沢小**)の対応が必要!



答え

見守りの担い手不足! 仕組みづくりを検討している。



ご高齢の方へ

補聴器補助



都補助を受けられるが今後の取組は?



答え

次年度以降、助成事業を検討。

孤独死対策



増えていて地域課題である。地域のつながりが希薄になる中で、**ささえあい協力団体**が増加している。地域包括支援センターと連携した取り組みを!



答え

地域サポートリンクの活躍で増加している

生活支援!!

緑と花の沿道推進事業補助金の拡大



件数が少ない。道路に面する花壇・生垣のみでなく、敷地内も認めている自治体がある。



答え

次年度、条件付きで敷地内も見直しへ。



外国人対応



答え

10年前より2倍増加。今こそ市の役割として、秩序を保った生活が送れるように支援が必要。



答え

暮らしのルールをお互いに守ることが重要。



意見

外国人転入時に**多文化共生センター**に、行ってもらう市もある。紙での紹介ではない伝え方を検討すること。

市民の皆さまが、日ごろ感じていること、困っておられることのご相談を日々お受けしていると、お一人だけでない市の課題を感じることがあります。そこから、議会意見となり、その後の進捗を見守る日々です。これからも、市民を大切にするまち西東京をつくってまいります!

